

2024年 春号

プレス会報

OSAKA METAL STAMPING ASSOCIATION'S NEWS

目次

◆ 新春特別講演会報告	1~2
◆ 新年賀詞交歓会報告	3~4
◆ 金属プレス研修塾・明星金属工業㈱研修	...	5~6
◆ 事業推進会議・各委員会・青年部会報告	...	7
◆ 金属プレス加工技術展 2024	8
◆ 技術向上セミナーのご案内	9~10
◆ 動力プレス金型特別教育のご案内		(同封)
◆ 第12回 社員総会のご案内		(同封)
◆ 第21回 金属プレス国際会議のご案内		(同封)

工業会からお願い（正会員の方へ）

社員総会にご欠席の正会員様は、
ご面倒でも、同封ハガキの「委任状」
にご記載頂き、投函をお願いします。



令和6年 新春特別講演会

日 時：令和6年1月29日（月）16時00分から17時00分まで

会 場：シェラトン都ホテル大阪 3階「金剛の間」

参加者：約60名（ご来賓及び工業会の会員）

講師：溝畑 宏 氏（公益財団法人大阪観光局 理事長）

演 題：「大阪・関西万博とIRにおける大阪のインバウンド需要と大阪市の観光資源の取り組み」



新年賀詞交歓会に先立ち、恒例の新春特別講演会を開催致しました。お忙しい中にもかかわらず、御来賓と工業会の会員から約60名の方にご参加頂きました。

溝畑氏は、京都府出身、東京大学法学部ご卒業後自治省（現在の総務省）に入省され、その後北海道庁や大分県庁にて国と地方の両面で行政の仕事をされておられました。特に大分県庁ではJリーグ大分トリニータの立ち上げや2002年日韓サッカーワールドカップの試合招致に尽力され、また立命館アジア太平洋大学（大分県別府市）の設立にも尽力されました。その後、官公庁長官を経て、現

在は大阪観光局の理事長を務められ、大阪を世界最高水準の観光都市にすべく、アイデアと行動力を持って推進されています。

（ここからはご講演内容を要約して記載致します。）

私は「ほら吹き」です。可能性が1%でもあれば、出来るとほらを吹くことが大事です。「ほら吹き」と「うそつき」は違います。ほら吹きは可能性が1%でもあればそれを100%に向けて必死に頑張る人です。うそつきは言うだけで何もしない人です。私はゼロからサッカーチームを作り14年かけて日本一にしました。アジアにハーバードのような大学を作りたい、まず成功のイメージを持ちロードマップを作ること、1年目、2年目の姿を描く、一番重要なことは最後までやり通すことです。トップになる人は絶対にほらを吹くこと、そのためにはリサーチと成功のイメージを持つこと、夢を描くことが重要です。企業のトップは夢を社員と共有して下さい。



日本は現在燦爛たる状態です。国際競争力は20年前が世界で2位でしたが現在は42位です。GDPもドイツに抜かれ、指標は厳しく財政もボロボロです。しかし住みたい都市ライキングでは日本は上位に入っています。チャンスはあります。日本が世界の平和、共生、協調のリーダーになるために大阪が日本を引っ張っていくのです。世界に日本のあるべき姿を発信していく、それが2025年なのです。ここでしっかりと復権しないと永遠にチャンスは来ないと思います。

国際観光文化都市・大阪が目指す姿は夢・希望溢れる都市です。年齢、性別、障害の有無、思想、信条を問わず皆を平等に受け入れる包容力溢れる都市です。また企業の皆様に一番意識を持って頂きたいことは、ゼロカーボン社会です。この意識がない企業は評価されなくなります。国際都市ランキングで大阪は経済・ビジネス分野で1位、交通・アクセスでも1位ですが、生活・住居は64位です。また環境に至っ

ては133位です。緑が少ないことが大きく影響しています。

関西には関西空、伊丹、神戸と3空港がありますが、3つ合わせてキャパは5,100万人です。一方アジアでは仁川（インチョン）空港は7,100万人、シンガポールは6,800万人です。アジアのゲートウェイになるにはキャパ増大に本気で取り組む必要があります。

経済面では大阪のGDPは6年間で3.3兆円増えました。東京と伸び率は同じです。この大きな要因はインバウンドです。大阪が生き残る道はいかに外資を取り込むかです。私がお大阪に来た7年前は行政の計画は空白でした。しかし行政と民間の努力によりロードマップが出来上がりました。主なところでは2024年はうめきた2期のまちびらき、25年大阪万博、森ノ宮には日本一大きい公立大学のキャンパスが出来ます。淀屋橋の再開発も完成します。そしてその後はIR施設開業に向けて淀川左岸線、なにわ筋線、新大阪駅再開発など、万博やIRへのチャレンジ精神が行動力となって推進しています。

また今後取り組む課題に「SDGs」があります。これをやらないと企業は評価されません。今の大学生は「SDGs」の意識が高いです。「SDGs」の意識がない企業には就職したくないとはっきりしています。具体的に4つ説明します。「ユニバーサルツーリズム」高齢や障がい等の有無にかかわらず、誰もが気兼ねなく楽しめる観光都市を目指します。「LGBTQツーリズム」多様性を尊重し、認め合う都市・大阪を実現します。「ペットツーリズム」人とペットが共に生きる街・大阪を目指します。「ナイトカルチャー」ナイトコンテンツを充実して夜でも楽しめる観光都市を目指します。

緑化への取り組みも始めています。一人当たり緑地面積は大阪：5㎡、東京：11㎡、ソウル23㎡、シンガポールは人口密度高いイメージですが66㎡です。圧倒的に大阪は緑が少ないです。日本みどりのプロジェクト推進協議会を立ち上げてオールジャパンで取り組みます。

大阪・関西万博は日本の成長の起爆剤になります。2025年は世界が大きく動く年です。世界情勢がどう変わるか人間の生き方が問われる年になります。万博は2,800万人の集客を見込んでいます。日本人の誇り・魅力を発信していきます。皆様の企業もビジネスチャンスや人材交流のチャンスです。ただテーマがいのちや健康なので高齢者向けと思われ、若者世代に響いてないのではと懸念があります。各パビリオンはユニークで魅力ですが、大谷翔平パビリオンなどスポーツ関連が少ないことが懸念されます。



IRはカジノが一部入りますが、その他はホテルや国際会議場、国際展示場、レストラン、ショッピングモール、エンターテインメント施設など年間2,500万人が来場する見込みです。雇用は9万人 経済効果は1兆円と大きな投資や経済消費が生まれます。大阪がアジアNo. 1になるための大きな起爆剤になるでしょう。

F1は世界24か所、日本では鈴鹿で開催しており誘致にはハードルが沢山ありますが可能性はゼロではありません。サーキット場か公道かで設備が違います。サーキット場はその他の利用が問題で公道はセキュリティや交通規制が問題です。シンガポールは誘致に10年かかったそうです。開催出来れば大阪がエンターテインメント都市として更に認知されます。私は何も無いところからサッカーチームを作り、大学を設立しました。F1も可能性がある限り挑戦します。やってみての失敗には気づきがある、やらなければ何も生まれない。職員にも常に言っています。是非皆様の会社でも世界のマーケットで将来会社をどんな姿にするか社員の皆さんと夢を語って下さい。それが大事だと思います。本日は有難うございました。

令和6年 新年賀詞交歓会

日 時：令和6年1月29日（月）17時30分から19時30分まで

会 場：シェラトン都ホテル大阪 3階 「志摩の間」

参加者：70名（ご来賓16名、工業会の会員53名、関係者1名）

- 式次第：1. 開会挨拶 代表理事 林 秀昭
1. ご来賓紹介
1. 御来賓代表挨拶 近畿経済産業局 辻 敦士 様
大阪府商工労働部 三杉真理子 様
1. 祝電披露
1. 乾 杯 日本金属プレス工業協会会長 高木 龍一 様
1. 懇親会（パーティ）
1. 閉会挨拶 業務執行理事 関 健一



林 代表理事 開宴のご挨拶

新春特別講演会が終了し、あわただしく部屋を「志摩の間」へ移動して頂いて、新年賀詞交歓会（懇親会）を開催致しました。

昨年に引き続いてご来賓をはじめ沢山の会員の皆様にご参加頂きました。当初は「葛城の間」で行う予定でしたが、有り難いことに予想を上回るご参加者があり、お部屋も「志摩の間」に変更させて頂きました。

まずはじめに、当工業会 林秀昭 代表理事（株）ハヤシ 代表取締役）から開宴のご挨拶がございました。今年は年始早々に能登地方で大きな地震があり、亡くなられた方、被害にあわれた方にご冥福とお見舞いを述べ、景気の回復を願うとともにご来場の皆様への感謝を述べました。次に司会からご来賓の皆様のご紹介があり、そしてご来賓の代表として近畿経済産業局の辻敦士様と大阪府商工労働部の三杉真理子様にご挨拶を頂戴致しました。



日本金属プレス工業協会 高木会長
乾杯ではなく 「ガンバロー」と唱和

乾杯のご発声はご来賓としてご参加頂きました、上部団体 日本金属プレス工業協会の 高木龍一会長（株）高木製作所 会長）にお願い致しました。今年開催の金属プレス加工技術展や金属プレス国際会議（ICOSPA）のご紹介を頂き、本来は“乾杯”ですが、元日の能登大震災の被害にあわれた方に対して乾杯は心苦しいということで“ガンバロー”という言葉で杯を上げました。

ガンバローと杯を上げた後はご歓談の時間です。久しぶりにご参加の方や初めてご参加される方も多くおられ、ご歓談中も名刺交換などが活発に行われ、通路が狭く感じられるほど大勢の人で活気が溢れておりました。



懇親会場 全景



ご歓談中の様子

ご歓談の途中に少しお時間を頂いて、ご来賓のインターモールド振興会様から今年開催される展示会、金属プレス加工技術展 2024（4月インテックス大阪、6月ポートメッセなごや）のご説明をして頂きました。また今年の10月に大阪にて開催される金属プレス国際会議（ICOSPA）について実行委員長である当工業会の林会長からご説明をして頂きました。

美味しい料理と飲み物で皆様には楽しくご歓談をして頂くことが出来ました。宴もたけなわではありましたが、残念ながらお時間も来てしまい、閉宴のご挨拶を関健一 業務執行理事（飯田金属工業(株) 代表取締役）が行ない、最後は三本締めにて楽しい懇親会を閉宴致しました。ご参加頂いた皆様、有難うございました。



最後は関健一（業務執行理事）の三本締めで閉宴

（下記は美味しい料理のほんの一部です）



**新年賀詞交歓会は会員相互の
情報交換、会員交流の機会ですの
で、是非ご参加下さい！**

宴会の様子
（動画）は当工業
会の Facebook
ページにて閲覧
出来ます。
（右QRコード）



金属プレス研修塾 明星金属工業を研修

日 時：令和6年2月2日（金）午後2時～4時
訪 問 先：明星金属工業株式会社（大阪府大東市野崎4-5-12）
内 容：挨拶、会社説明、工場見学、質疑応答など
参 加 者：15名（塾生 14名、委員長 1名）

金属プレス研修塾は10月に製鉄所（神戸製鋼所）、12月にコイルセンター（近江産業）の研修を行ないましたが、続けて今回は明星金属工業株式会社を訪れてプレス金型についての研修を行ないました。

明星金属工業株式会社は1950年（昭和25年）9月に設立、資本金1億3千万円、従業員145名、主に自動車用ボディ、ルーフ、ドアのプレス金型の設計・製作をしています。工場内には大型の金型や1,800tプレス機があり巨大さに驚かされました。

今回の研修では主に金型の設計について詳しくご説明頂きました。自動車メーカーからの3Dデータを社内で展開し、工程検討、設計検討、生産計画、方案検討など十分な準備段階を経て加工データの作成に入ります。3D設計システムなどを駆使して金型を設計して行きますが、3D-CAE解析シミュレーションソフトの運用のおかげで実際に金型を製造・組み立てをする前に材料や鋳物のたわみなどを計算して判断が出来るようになったそうです。シミュレーションソフト導入前に比べて納期もコストも削減出来ているそうです。しかし実際に金型を製造してもそれで完璧ではなく、圧力をかけた時に起こるたわみ・歪み、摩耗等がソフトでは分からないため微調整の研磨などは担当者が手作業で行う、いわゆる職人技の部分もあるとのことでした。金型を修正しては大型プレス機で加工してまた修正するという作業を何度も繰り返しながら金型を完成させるそうです。

このように技術力を結集して完成した金型を納品する際には『魂の伝達式』を行ない、顧客の上層部の方々に苦労話などを披露して完成を祝うと共に、自慢の金型でしっかりと生産をして欲しいという願いを伝えるそうです。皆さん誇りをもって仕事をしている姿が素晴らしいと思いました。



人材育成にも興味深いお話がありました。設計、解析ソフトは設計が楽になる反面、個人のスキルが上達するわけではなく、そのため入社後1年目は現場研修を実施しているそうです。福利厚生も充実しており、特に社員食堂は地産食材、安価で豊富なメニューなど他の企業にないレベルでした。

地域貢献にも力を入れ幼稚園から大学生インターン受け入れなど様々な活動をされています。地域に根差し技術力と人間力に溢れた企業でした。上田社長はじめ社員の皆様どうも有難うございました。



明星金属工業から会社説明（上2枚）



集合写真

<明星金属工業株式会社 2024.2.2 塾生レポート（アンケート）から抜粋>

（同じ内容のものをまとめました、 順不同）

1) 所感（感銘を受けた内容）

○人材の育成に関して

- ・基本理念の意識付け ・「魂の伝達式」従業員の皆さんのやる気を引き出す積極的な取組
- ・1年目現場研修、2年目配属して設計のイロハ、3年目実務の育成計画

○CADソフトや解析ソフトのシュミレーションに関して

- ・製造に着工する前の準備工程にコストと時間をかけている
- ・ソフトによるノウハウの蓄積、生産性の向上、コストカット、不良の減少
- ・一方で現場最終調整の研磨の技術は継承できてない、若手の技能向上機会が減っている

○福利厚生、地域貢献

- ・地元食材を利用した自慢の社員食堂 ・バースディカードの配布など
- ・地域の美化活動、清掃活動

2) 自分の仕事・役割に関して参考になった内容

- ・シミュレーションソフト導入で効率化できる反面で現場のノウハウの継承が難しいという点
- ・最後は職人さんの腕が重要とのこと、知識は習得できても技術は実際に触って身につけないといけないことを、あらためて実感しました
- ・社員食堂、設備、人材育成、改善事例など、会社で行った取り組みをHPや資料にまとめられている
- ・工程設計、方案検討などの準備段階で入念に検討していかにか金型の修正回数を減らして製作出来るかなどの考え方
- ・金型を外さずに型内で微調整をしてすぐに再トライをするというのが参考になった。
- ・新入社員の育成を徹底的に基礎から教えているのは、自分の仕事にも参考にしたい

3) 自分の会社・組織に関して参考にしたい内容

- ・3D設計、シミュレーションソフト導入により修正回数が格段に減り、導入前とはコストが1/3に削減されたという話が参考になりました。
- ・地域の保育園や小学校との活動が参考になった。
- ・人材育成、外部の講師によるセミナーやQC活動発表会、勤続年数表彰など
- ・工場改善例、遮熱ボードの設置やミスト装置の設置、照明についても人感センサーや休憩時間一斉消灯
- ・新人教育、入社1年目は徹底的に現場、2年目は設計のイロハ、3年目は設計の実践入門など教育計画がしっかりと決められている
- ・3D設計ソフトを使用して金型設計をするが、設計ソフトがよくなると設計ができてしまい、個人のスキルが育たなくなる。
- ・食堂に力を入れており、今まで見たことない水準の食堂だった。

4) その他（印象に残った内容、取組、言葉など）

- ・塾生からの質問に対して上田社長が、すべてお1人で回答されていたのが印象に残りました。現場や設計、事務所での問題点などすべてを把握しておられる感じがしました。
- ・金型が好きで入ってくる人はいない。と言われていたこと。基礎を伝えることに時間を使っているのは長く働いてほしいと思っているからで人を育ててそれとともに会社も成長し続けているのだと感じました。
- ・上田社長が仰っていた「鉄板は生きています」という言葉が印象に残っています。
- ・今までは鉄の加工をメインにノウハウを蓄積していたのが、アルミがメインになるとなると今までのものは活かせず、一から積み上げないといけないという話
- ・魂の伝達式です。その魂のこもった金型でしっかりと製造して欲しいという願いが込められており、各自誇りを持って仕事をしておられるのが素晴らしいと感じました。
- ・高級車のボンネットがアルミ化しているという点で、アルミの扱いが他の素材に比べて難しいという点と、高級車で使用されることが増えてきているという点がとても気になった。

以 上

事業推進会議・各委員会活動 報告

開催日時、場所	内 容	参加者	写 真
第2回 事業推進会議 2月29日 18時30分～ たかつガーデン「ガーベラ」	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会・賀詞交歓会報告 ・金属プレス研修塾報告 ・今年の技能検定の予定など ・金属プレス加工技術展 ・金属プレス国際会議 (ICOSPA) ・次回国内工場見学会について 	11名	
第1回 安全・技術委員会 3月6日 18時00分～ たかつガーデン 「桃」	<ul style="list-style-type: none"> ・技能検定の報告と今年の予定 ・金属プレス加工技術展の告知 ・金属プレス研修塾 実施経過報告と次年度の計画 	8名	
第8回 技能検定 特別委員会 3月13日 18時00分～ たかつガーデン 「百合」	<令和6年度の計画について> <ul style="list-style-type: none"> ・スケジュールと受検者数 ・学科講習会・計画立案講習会 ・実技講習会 A ・実技講習会 B ・実技講習会 C (現地説明会) ・実技試験本番 	4名	

青年部会 活動報告

青年部会とは、50歳以下の次代を担う若手経営者及び経営幹部による活動の場です。毎月メンバーが集まり、近況報告会や勉強会（講師例会）、工場見学会などを実施して経営者としての見識・教養を高め、会員同士の交流を深めています。

1月は新年賀詞交歓会（親会）に参加しました。2月は事務局にて2月例会を開催して3月卒業式や4月総会の事を話し合いました。50歳の年度末に卒業となりますが、今年は2名の方が卒業されます。

青年部会では新たなメンバーを募集しておりますのでご希望の方は事務局までご連絡下さい。



2月例会の様子

金属プレス加工技術展 2024

開催日時 2024年(令和6年) 4月17日(水)～19日(金) 10:00～17:00

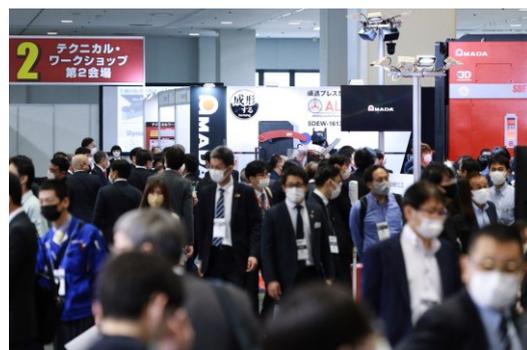
開催場所 インテックス大阪 6号館 A

(大阪金属プレス工業会 正会員企業の出展予定)

- ・株式会社 青戸金属
- ・朝田金属工業株式会社
- ・アートウインズ・シートメタル株式会社
- ・飯田金属工業株式会社
- ・株式会社岡野製作所
- ・カネエム工業株式会社
- ・株式会社関西発條製作所
- ・佐々木工業株式会社
- ・株式会社サンコー技研
- ・タチバナ精機株式会社
- ・タチバナテクノ株式会社
- ・株式会社大喜金属製作所
- ・株式会社豊里金属工業
- ・濱田プレス工藝株式会社
- ・株式会社ハヤシ
- ・株式会社ビゼン
- ・株式会社プレス技術研究所
- ・プレテック株式会社
- ・一般社団法人大阪金属プレス工業会のブースから
(三洋金属工業株式会社)
(平金物株式会社)
(日建ラス工業株式会社)

(合計21社 プレスメーカーなど賛助会員は除く)

入場は**無料**です <完全事前来場登録制>



未登録の入場は 入場料 3,000円

当日登録は受け付けられませんので、必ず事前来場登録を済ませて下さい

新入社員の方
対象

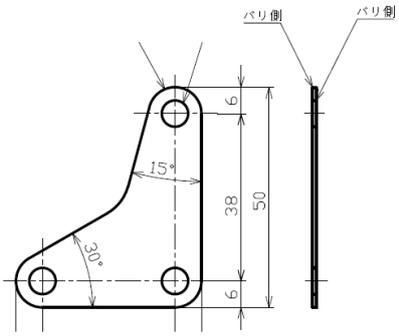
2024年度 セミナーのご案内(RP013)

事務・営業職
の方も

はじめて学ぶプレス製品図面の読み方 -せん断製品、曲げ製品を例に図面の読み方を学ぼう-

図面は工業技術の基礎ではありますが、図面には特有の図形の描き方や各種記号が使われており、そのルールを知らないと上手く図面を理解することができません。

今回は図面を読むことに不慣れな方を対象に、プレス製品の図面や曲げ板金図面が読めようになっていただけるよう、せん断製品や曲げ製品の例を挙げ、図面に使われているルールを学んでいただきます。複雑な図面も基礎の組み合わせですので、職場での図面読解の基礎を理解していただくことを目的としています。

主な内容		<p>1. 製図一般</p> <ul style="list-style-type: none">(1)製図規格、投影法(2)断面図(3)寸法の表し方(4)寸法公差 公差等級、はめあい(5)幾何公差 平面度、直角度 <p>2. 製品図面事例</p> <ul style="list-style-type: none">(1)せん断製品、曲げ板金製品の特徴 せん断面、中立面、スプリングバック(2)曲げ板金図面の設計製図事例 片伸び、両伸び(3)展開図作成課題実習	
日時	RP013	2024年5月29日(水)~5月30日(木) 9:20~16:20 (会場受付:9時10分~)	
対象者	現場新入社員(入社1~2年目)の方、または図面の読み方をはじめて学ぶ方		
参加費	会員 11,000円 非会員 22,000円	定員	15名(先着順) ※6名以上で実施予定
講師	(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構 高度ポリテクセンター		
主催	一般社団法人日本金属プレス工業協会		
申込み方法	裏面の参加申込書にてFAXまたはメールでお申し込み下さい。		
会場	大阪	<p>ポリテクセンター関西 〒566-0022 大阪府摂津市三島1-2-1</p> 	

参加申込書（2024年度）

（一般社団法人大阪金属プレス工業会 御中）

年 月 日

セミナーについて、次のとおり申し込みます。

セミナー名	はじめて学ぶプレス製品図面の読み方(RP013)
-------	--------------------------

企業名		所属団体 (√してください)	<input checked="" type="checkbox"/> (一社) 大阪金属プレス工業会 <input type="checkbox"/> (一社) 日本金属プレス工業協会 <input type="checkbox"/> 一般
所在地	〒		
連絡先	TEL	FAX	
	E-mail		
申込担当者	ふりがな	部署名	
	氏名		

ふりがな 参加者氏名	申込結果

お申込み、キャンセル、受講者変更は、**メールまたはFAX** でお願ひします。

メール: omsa1@omsa.or.jp

FAX: 06-6762-7633

※注1 受付は**先着順**です。定員になり次第、締切りとさせていただきます。

※注2 各会場において、**受講者が一定数に満たない場合や自然災害、感染症等の影響により、中止となる場合がございます**。中止の場合は、大阪金属プレス工業会から申込担当者あてにご連絡いたします。

※注3 受講料の振込のご案内は、開催が確定しましたら申込担当者宛にメールにて送付いたします。

※注4 お申し込みの取消し(キャンセル)は、**開講日の2週間前まで**に FAX またはメールでご連絡ください。それ以降は欠席となり返金いたしません。

会員の皆様を「守り育てる」 会員の皆様と一緒に「未来につなぐ」

(一社)大阪金属プレス工業会50周年 会員パートナー宣言

我が工業会ならではの情報発信力とネットワーク環境を活かしながら
会員各社の社員様の育成のお手伝いをし
各社の業績の向上を支援します。

そしてこれらの果実を享受した会員自身が
次に工業会の情報収集力とネットワークをさらに強めていきます。
会員総てが工業会のパートナーとしての自覚を持っているからです。

ますます厳しさを増すグローバル競争の中
50周年を機に、ここ関西・大阪の地で活躍する会員の皆様が発展され
それが大阪のプレス業界を活性化して
将来世代に夢と希望を繋ぐことを目指します。

2016年5月26日

一般社団法人 大阪金属プレス工業会 理事一同

一般社団法人 大阪金属プレス工業会 公式HP



一般社団法人 大阪金属プレス工業会 公式facebook



一般社団法人 大阪金属プレス工業会 公式LINE 友だち登録
(会員企業用)

